

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	あい保育園富岡東
経営主体(法人等)	株式会社 アイグラン
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒236-0051神奈川県横浜市金沢区富岡東6-3-10
設立年月日	2013年4月1日
評価実施期間	令和元年5月～令和元年12月
公表年月	令和元年 1月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
【施設の立地・特徴】 ・立地および施設の概要 あい保育園富岡東は、京浜急行本線京急富岡駅から徒歩約 4 分、国道 16 号線沿いにあります。平成 25 年に開所し、0 歳児から 5 歳児まで 66 名（定員 60 名）の園児が在園しています。駅周辺や国道沿いには商店が連なり、国道から少し離れると、団地のある静かな住宅街となります。近隣には公園が 10 カ所ほどあり、園児は天気がよければ毎日散歩に出かけ、地域に親しんでいます。園舎は鉄筋造り 3 階建てで、最上階は屋上園庭となっています。1 階に 0、1 歳の保育室、廊下から中が見える給食室、2 階には 2～5 歳の保育室のほか、子ども達が「おもちゃの王国」と名付け、様々なおもちゃを納めたり、子どもと先生が静かに話をするなど、多様な使い方ができる多目的室があります。 ・園の特徴 広島市に本社を置き、認可保育園のほか、事業所内保育園を全国的に展開する株式会社アイグランが運営しています。設置法人は、2001 年に保育事業に参入するまでは病院内のテレビや、スーツケースのレンタルを本業とし、常に時代の新しい流れを取り入れてきたユニークな会社で、この園でも、保護者が携帯電話やパソコンからいつでも保育室の様子が見られるウェブカメラシステムや SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のためのセンサーを導入しています。子どもたちに「自分の夢を自分の力で実現できる人」になってほしいと願い、保育方針として、自主性を育てること、個性を大切にすること、思いやりの気持ちが育つ「心の基地」を目指すこと、自然との触れ合いを大切にすること、を掲げています。園目標は、園名を取り入れ、「あかるくげんきに、いっぱい遊ぼう」としています。 【特に優れていると思われる点】 1. 多様性や個性を積極的に受け入れる姿勢 個性を大切にし、“Only One”を尊重し、「自分らしさ」を発揮できるように援助することを保育方針に明記し、特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢を明らかにしています。また、特別な配慮の要否にかかわらず、それぞれの子どもの異なる個性を受け入れて活動していく、という考え方で保育をしています。各年齢の年間指導計画には、統合保育の欄があり、子どもの個々のペースを大事にしながら、子どもが友だちの存在に気づき、互いに認め合いながら関わっていけるように、職員が遊びの設定や仲立ちをすることが明記されています。定員60名という規模を生かして、日頃より、個別のケースについて、職員会議やケース会議などで話し合っ、子どもの状況について共有し、全職員がすべての園児のことを知って関わっています。職員更衣室内には、災害時などに備えて、配慮を要する子どもと配慮事項の一覧を掲示し、どの職員でも常に適切な対応ができるようにしています。	

2. 子どもの主体性を大切にする職員の働きかけ

職員は、子どもが主体的に活動できるよう、やりたいことを自由に発言できる雰囲気づくりに配慮し、つぶやきも聞き逃がさないように心がけています。活動の導入に当たっては、よく話をすること、子どもが納得できることを大切にしています。0歳児では、歌に合わせて動いている様子から、好きな歌を見つけて、運動会での手遊びに取り入れました。5歳児では、夏祭りのお神輿をどのようなものにしたいか、お泊り保育で何をしたいのかなど、子ども同士で何度も話し合って決めるように導き、5歳児の子どもたちは縦割りクラスの活動で、3、4歳児と協力して「花と星」をテーマとするお神輿を作ったり、お泊り保育で、自分たちで考えた「ナイトプール」（夜間のプール遊び）が実現しました。また、職員は、子どもが取り出しやすく片づけやすいおもちゃの収納について話し合い、持ちやすい箱を購入するなど環境づくりの工夫をしています。自由遊びの時間には、0～2歳児は、保育室内の手の届く棚から自由に好きなおもちゃを取り出して遊び、3～5歳児は「おもちゃの王国」（多目的室）からキャスター付きのボックスなどに収納されたおもちゃを、友だちと協力しながら、自由に運び出して遊んでいる姿が見られました。

3. 食について興味を持ってもらうための様々な取り組み

子どもの頑張りをほめ、食べる楽しみを感じられるよう職員で改めて勉強会を行い、「完食について」とする資料をまとめ完食を強要しない支援の仕方を確認しました。毎年テーマを決め、今年度は、三色食品群のことを歌にした「えいようのうた」の歌詞を各クラスに掲示しています。玄関ホールには、給食食材仕入れ先の契約農園の通信が掲示され、ピーナッツのでき方や、今月の野菜が紹介されていました。年1回、設置法人による企画で、仕入れ業者が珍しい野菜を持ってくることもあります。職員が「いらっしやいませ、レストランへようこそ」「〇〇定食のお客様」と声をかけながら給食を運び入れたり、パーティ風にテーブルの配置を変えたり、室内を暗くしたりして、楽しい雰囲気づくりをクラスごとに工夫しています。陶器を用い、できる限り無農薬・減農薬野菜、国産の食材を利用しており、玄関ホールには、当月の給食食材の産地一覧表が掲示されていました。天然だしを用い、化学調味料は使わず、薄味を心がけ、おやつも含め手作りしています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 子どもがゆったり過ごせる場の確保を

自由遊びの時間帯には、多目的室からのおもちゃの出し入れなどで子ども達の移動が多く、やや落ち着かない雰囲気が感じられました。遊びによって部屋を分けたり、静かな遊びをしたい子どものために、コーナーを作ったり、体を休めたい子どもがいた場合には休める場所を作るなど様々な配慮をしていますが、さらに、子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境や、ゆったりとくつろいで過ごすことが出来る場の確保について継続して検討することを期待します。

2. 地域の子育て支援ニーズを把握し、専門性を生かした子育て支援機能の充実を

園庭開放日を月1回、育児相談日を毎月1回設けているほか、おむつ替えなどの場所を提供する「赤ちゃんの家」（金沢区の取り組み）への参加、富岡・並木地区の8園で協働して行う区や地域の子育て支援事業への協力を通じて地域の子育てニーズを把握するよう努め、育児相談を受けていますが、ここ数年は園の施設の利用や園への育児相談の実績がありません。週1回以上の定期的な相談日を設けての育児相談の実施や、園庭開放、赤ちゃんの家の継続により、地域の子育てニーズを把握し、育児相談事業の充実や保育所の専門性を生かした子育てに関する地域に向けての講習会などの開催を検討していくことが期待されます。

3. 職員のモチベーション維持のための人事基準の明文化を

設置法人により、人材育成計画は策定されているものの、配置や昇進・昇格、昇給に関する人事基準の明確な定めはありません。キャリアアップ研修と処遇改善など加算への反映の仕組みを職員に周知していますが、副主任以下は園長の裁量で職務遂行の結果や専門性を評価し、昇格や配置を決定しています。人材育成計画とともに、配置や昇進、昇格に関する人事基準が明文化され、職員に周知することが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・職員は個々に、子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視をしないように努め、子どもをせかしたり強制したりせず、穏やかに接するように努めています。
- ・子どもの気持ちや発言を受け入れ、子どもの自主性を引き出せるような保育を行うように努めています。
- ・職員会議で子どもの人権について議題に挙げ、職員に注意喚起しています。金沢区主催のリーダー研修に参加した職員が、人権について学んだ内容を職員会議で伝え、日ごろの保育について振り返りました。
- ・多目的室や事務所など、必要に応じてプライバシーを守る場所を用意することができます。
- ・職員は入職時に守秘義務について説明を受け、誓約書を提出しています。個人情報取り扱いマニュアルが整備され、入職時に周知しています。
- ・職員会議の中で年2回程度、性差について職員間で話し合い、性差による固定観念で保育をしないように留意しています。
- ・虐待対応マニュアルがあり虐待が明白になった場合は区役所や関係機関に通告・相談する体制ができています。

2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・全体的な計画は、子どもの主体性が、入園から卒園まで発達に応じて育まれていくことを重視して、子どもの最善の利益を第一義として策定されています。
- ・トイレトレーニングや離乳食について、保護者の意向や家庭での様子を確認しながら個別支援計画の評価・改訂をしています。
- ・睡眠や排泄、食事、機嫌、園や家庭での様子について、日々の連絡帳のやり取りや送迎時の会話などにより情報共有をし、保育に生かしています。
- ・一人一人に合わせ、発語には丁寧に応えていく、「自分で」という気持ちを大事にする、やる気の出る声かけを工夫していくなどの配慮をしています。
- ・園内外の清掃をし、換気扇や窓開けで換気し、エアコン、加湿器により適切な温湿度を保っています。保育室内に沐浴室、温水設備があります。
- ・0～2歳児については、個別の月間指導計画があり、現在の子どもの様子、ねらい、内容、保育士の配慮、評価・反省が記載されています。
- ・子どもたちは自分でぬいぐるみや絵本を取り出して遊び、朝夕の室内遊びではコーナーづくりやジョイントマットの活用などしっかり遊びこめる環境にし、作りの作品などは後日、続きに取り組めるようにしています。
- ・食育計画に沿ってピーマン、ひまわりなどを育て、カブトムシを観察し、天気がよければ散歩に出かけて積極的に健康増進に努め、地域を知ったり、自然に触れたりしています。

	・授乳は、ゆったりした雰囲気、抱っこをして優しく声をかけながら与え、食事では頑張りをほめ、食べる楽しみを感じられるような援助をしています。 ・午睡時には部屋を暗くして安心して心地よい眠りにつけるよう配慮し、0、1歳児は5分毎、2歳児以上は15分毎に呼吸チェックをしています。 ・トイレトレーニングは保護者と連携しながら1歳ころから始めています。 ・夕方以降はぬり絵や折り紙のコーナーを作るなど子どもがそれぞれ自分の好きな遊びができるようにし、ゆっくり座ってのんびり遊べるように配慮しています。 ・保護者会で園の意向を伝え、園運営について話し合い、保護者の意見要望を聞くなど、常に保護者とコミュニケーションをとるように努めています。
3.サービスマネジメントシステムの確立	・慣らし保育については子どもの様子や保護者の考え方、事情に合わせ、柔軟に対応しています。 ・特に配慮を要する子どもについては、個別の配慮事項を考慮した年間指導計画案、月間個別支援計画を立てています。 ・園内にエレベーター、多目的トイレ（2階）を備え、階段通路には点字ブロックを設置し、フロアに段差はありません。 ・アレルギー対応マニュアルがあり、医師の生活管理指導表に従って対応し、複数の職員による除去食内容の確認、専用トレイの使用、食事中的見守りを行っています。 ・苦情対応として受付担当者は主任、解決責任者は園長とし、第三者委員の氏名・電話番号を案内しており、園内に意見箱を設置しています。 ・健康診断と歯科健診はそれぞれ年2回実施し、身体検査表、歯科健康診査表に記録し、健診の結果は書類で保護者に伝えています。 ・感染症対応マニュアルがあり、保育中に発症したときは保護者に電話連絡して迎えを要請しています。嘔吐や下痢があった時の処理の仕方や手洗いなどについて、看護師が指導しています。 ・安全管理マニュアルがあり、緊急時連絡先を掲示し、地震・火災などを想定して毎月避難訓練を実施しています。 ・病院、救急機関、警察などの連絡先一覧表を掲示し、保護者への緊急時メール体制、警備会社との緊急連絡体制があります。子どものケガは保護者に報告し、事故報告書やヒヤリハット報告書に記録して再発防止を検討しています。
4.地域との交流・連携	・園庭開放日（月1回）、赤ちゃんの家（おむつ替えなどの場所を提供）の利用者を通じて子育て相談を受ける機会を設けています。育児相談日を毎月1回設けています。 ・金沢区こども家庭支援課、中央児童相談所、横浜市南部地域療育センターなどの関係機関と常時連絡を取り合い連携しています。

	・園の行事として毎年実施している夏祭り、運動会のポスターを園のフェンスに掲示し、見学者や卒園児の家庭に行事案内の手紙を送り、地域住民や子どもたちに参加を呼び掛けています。 ・散歩のときに地域住民と大きな声で挨拶を交わしています。年長児交流が年2～3回行われ、富岡・並木地区8園でドッジボールによる交流をしています。 ・ボランティア受け入れマニュアルがあり、専門学校生2名が保育補助として2日間活動しました。
5.運営上の透明性の確保と継続性	・指導計画の実施結果の振り返り、日常業務などを通して保育所としての課題を明らかにし、中長期計画に反映して改善に取り組んでいます。 ・園として守るべき法、規範、倫理などを就業規則に明記し、職員に周知しています。就業規則、職務分担表に職務内容を明記し職員に周知しています。 ・牛乳パックなどの廃材を使って子ども達の帽子入れなどを作って、再利用を図っています。電気・エアコンをこまめに消すなどで、省エネを実施しています。 ・生活発表会の場所、年長児のアルバム製作、設置法人が導入する「あい運動教室」など重要な意思決定に際し、職員、保護者と話し合い、実行に取り組んでいます。 ・主任は職員の体調や勤務内容などを把握し、効率的に気持ちよく勤務できるように配慮しています。また、職員の能力や人柄を把握し的確な助言をしています。 ・平成30年度～令和4年度の長期計画、中期計画があり、令和元年度の事業計画があります。
6.職員の資質向上の促進	・実習生受け入れマニュアルがあり、本年度5月に専門学校の学生1名の実習を2週間受け入れました。 ・保育所運営に必要な職員構成を園長がチェックし、不足があれば設置法人に相談し補充をしています。職員研修はキャリアアップ研修（県委託、横浜市や金沢区主催）をベースにしています。 ・職員は、各自で年間目標を定め、個別の研修計画を立て、年度末に振り返りを行い、園長、主任と意見交換し、次年度の研修計画を作成しています。 ・非常勤職員用のマニュアルがあり、職員会議などで決定した事項など伝達すべき事項について非常勤職員にも伝えています。 ・職員が年間、月間、週間指導計画に基づいて行った保育結果について、評価・反省する欄を設けています。 ・職務分担表に基づいて職務内容・権限を明確にし、現場における権限移譲を可能にしています。 ・職員からの改善に関する意見は日常業務や会議の場で提案があります。法人として職員表彰制度があります。

評価機関による評価

令和元年12月6日

事業所名 あい保育園富岡東

 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
I－1 保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成   	・ 設置法人共通の保育理念および保育方針が定められています。「自分の夢を自分で実現できる人」になって欲しいと願い、いろいろなことへの興味、自分でやってみる気持を持つこと、思いやりの気持ちをもって仲間と関われること、安心できる「心の基地」があること、が必要であるという理念を掲げています。保育方針としては、自主性を育てる、個性を大切にする、思いやりの気持ちが育つ「心の基地」をめざす、自然との触れ合いを大切にする、の4つを掲げています。いずれも、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 職員は新人研修で理念・基本方針の説明を受け、方針に従う旨の誓約書を提出しています。園長からも面談時に再度伝え、事務室および職員更衣室に掲示しています。重要事項説明書、園のパフレット、設置法人ホームページに掲載があり、見学時、入園時に保護者に説明し、周知しています。 ・ 全体的な計画は年度末に設置法人と相談しながら、園長、主任で原案を作成した後、職員からの意見を聞いています。記載内容が、保育所保育指針のどの章に対応するか、マークを付けて、明確にわかるようにしています。 ・ 全体的な計画に基づき、年齢ごとに、年間指導計画、月間指導計画（0～2歳児、障がい児は個別）、週案、デイリープログラムを作成しています。 ・ 入園説明会や年3回の保護者会全体会、園だより（クラス便り）で、全体的な計画を踏まえて保護者に保育内容について説明しています。 ・ 職員は子どものやりたいことが実現できるように、子どもにとって何がよいかを一緒に考える姿勢を大切にしています。特に行事に向けては、常に注意して子どもの様子を観察したり、子どもの言葉を積極的に拾って、意見や要望を取り入れており、計画には柔軟性をもたせています。
I－2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施   	・ 入園決定後、入園説明会を実施し、基本的には子ども同伴で入園前面接を行っています。入園時に、食事状況調査書、健康診断票、児童調査書、緊急時連絡および引渡票を提出してもらい、面談で生育歴や家庭での状況を把握し、「入園時面談記録」を作成してファイリングしています。 ・ 毎年4月5日くらいまでを慣らし保育の期間とし、入園時に慣らし保育の必要性を説明したうえで、子どもの様子や保護者の事情に合わせ、柔軟に対応しています。 ・ タオルなど心理的拠り所となるものの持ち込みを認めています。午睡の布団は、家から自分のものを持ってきてもらっています。進級が近づくと、新しい保育室に早く馴染めるよう、進級後のクラスに遊びに行っています。 ・ 0歳児では、子どもが指をさしたり、喃語を発したりするのに職員が丁寧に応えている姿、一人一人の要求を見極めながら、やさしく声をかけておむつを替えたり、体をさすって寝かしつけたりしている姿が見られました。保育室に、清潔で安全な広いスペースを確保することで、這ったり歩いたりして、十分に体を動かせるようにし、衝立や段ボール箱を使って、つかまったり立ったりできるようにしています。握ったり、指で押すと音の出るおもちゃ、簡単な言葉の発語につながるようなまごど道具、ぬくもりが感じられるぬいぐるみ、絵本などを置いて、興味や好奇心が育つようにしています。おもちゃや絵本を置

	くスペースに余裕を持たせ、子どもが自分で動かせるようにしています。 ・1～3歳未満児では、「自分で」という気持ちを大事にして、できたことをほめ、やる気の出る声かけを工夫しています。ズボンははくときに、できるところは見守りながら、職員が難しいところだけ手伝っている姿が見られました。 ・専任講師が指導するリトミック、体操、職員が指導する「リズム」、ゲーム、外遊びなど、全身を使う遊びが楽しくできるプログラムを設定しています。 ・子どもが自分の気持ちを伝えられるように職員が仲立ちをしたり、友だちの気持ちが理解できるように代弁して、友だちとの関わりを深めていけるよう配慮しています。 ・3歳以上児では、ルールのある遊びをしたり、植物の成長を観察してみんなで製作を楽しんだりしています。成長に沿って、自分たちでルールを考えたり、友だちと一緒に歌ったり、みんなで協力して、役割を分担したりしながら達成感や充実感を味わっています。4、5歳児は夏祭りのお神輿をどのようなものにするか、子ども同士で考えて、協力して作りました。5歳児は、お泊り保育の活動内容や夕食のメニューも、子ども同士で話し合っ決めてしました。 ・3～5歳児は、リトミック、リズムのほか、月1回、専門の講師を招いて指導を受ける「あい運動教室」のプログラムを実施しています。天気がよければ、ほとんど毎日近隣の公園に出かけ、思い切り体を動かして遊んでいます。雨の日でも、保育室内で、技巧台やトンネルなどを使って、十分に体を動かすことができるようにしています。 ・一人一人にねらいを持つことで、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながるよう心掛けています。5歳児では、一斉活動のなかで数字のワークを取り入れたり、保育室にひらがなの五十音表を貼って、数字や文字への興味が高まるようにしています。1歳児でも数字を取り入れた手遊びをしています。今日は何月何日、給食のパンが一人何個、時計さんの針が〇〇まで、など生活の中でもさまざまな声かけがされています。
I－3 快適な施設環境の確保 	・「おそうじチェック表」「掃除当番表」を用いて、漏れの無いように園内外の清掃をしています。給食後や午睡中にも清掃する職員の姿が見られ、園内は常に清潔に保たれていました。 ・換気扇の使用や随時の窓開けによって換気し、臭いがこもらないように心がけています。訪問調査時には、嫌な臭いは感じられませんでした。 ・保育室内に温湿度計（デジタル時計）を置き、保育日誌に午前と午後の温湿度を記録しています。エアコン、加湿器を利用し、適切な温湿度が保たれるように配慮しています。 ・全ての保育室の東側に掃き出し窓があり、十分に陽光が取り入れられる造りとなっています。カーテンやブラインドによって明るさを調整しています。 ・歌やダンスの遊びをする時に使うピアノやCD、0、1歳児の午睡時に流すオルゴールのBGMは適切な音量にしています。 ・0歳児保育室内に沐浴室、1歳児保育室および、2階幼児用トイレスペース内に温水設備があります。設置法人作成の清掃マニュアルがあり、沐浴・温水シャワーは使用の都度清掃し清潔が保たれています。 ・0歳児は生活や活動に合わせて、背の低いパーテーションを自在に使って空間を仕切り、小集団保育が行われるよう工夫しています。1歳児では、マットを活用して、活動別に保育室内で使うスペースを分けるなどしています。 ・0歳児は背の低いパーテーションで区切り、他のクラスでは、保育室内の異なるスペースで食事と午睡をして寝食の機能別空間を確保しています。 ・2～5歳児では、おもちゃを収納している多目的室や、多目的室への行き来の際などに、廊下、階段前のスペースなどで、自然な交流があります。0、1歳児のクラスがある1階には、ガラス張りの給食室が見える廊下や自然物の展示や生き物の飼育槽、給食サンプルなどが置かれた玄関ホールがあります。
I－4 一人一人の子ども	・個別に児童票のファイルがあり、園所定の様式によって入園時に把握した生育歴や家庭状況などを記録しています。

に個別に対応する 努力 	・児童票のファイルに、0～2歳児は毎月、3～5歳児は3か月ごとに、入園後の成長発達記録を残しています。障がいのある子どもについては、日々記録を残しています。 ・0～2歳児については、個別の月間指導計画があり、現在の子どもの様子、ねらい、内容、保育士の配慮、評価・反省が記載されています。 ・3～5歳児についても、要支援児・障がい児の年間指導計画、個別支援計画の様式があり、必要な子どもについて個別指導計画を作成しています。 ・個別支援計画は、評価・反省に基づいて毎月見直しをしています。特に障がい児の個別支援計画は、子どもの状況によって柔軟に見直しをしています。 ・0～2歳児は、保護者と連絡ノートを毎日やりとりすることで、離乳食やトイレトレーニングの進め方などを共有しています。年2回、個人面談を実施して、家庭での様子や要望を聞き取ったり、担任から園での様子や保護者の要望への対応方法について伝えています。 ・例年、園児が就学する4～5校の小学校に、保育所児童保育要録を送付しています。近隣校の場合は持参しています。 ・定員60名という規模を生かして、日頃より、職員会議やケース会議で子どもの状況について共有し、全職員がすべての園児のことを知って関わっています。重要な申し送り事項は個別ファイルに記録しています。
I－5 保育上、特に配慮 を要する子どもへ の取り組み 	・保育方針の一つとして「個性を大切にします」と掲げ、特に配慮を要する子どもも、“Only One”を尊重し、「自分らしさ」を発揮できるように援助すること明記し、積極的に受け入れる姿勢を明らかにしています。 ・特別な配慮の要否にかかわらず、それぞれの子どもの異なる個性を受け入れて活動していく、という考え方で保育をしています。各年齢の年間指導計画の統合保育の欄には、個々のペースを大事にしながら、友だちと関わっていけるように、職員が遊びの設定や仲立ちをすることが明記されています。 ・認定を受け、職員加配となっている特に配慮を要する4、5歳児については、それぞれの特性を考慮した年間指導計画案、月間個別支援計画が立てられています。横浜市南部地域療育センターによる年2回の巡回指導などにより、指導や助言を受けています。 ・食物アレルギーを持つ子どもや、家庭に課題のある子ども、障がいのある子どもなど、個別のケースについて、職員会議や2クラス会議（2つの年齢のクラスによる会議）、サブリーダー会議（サブリーダー以上の役職による会議）で話し合い、会議録を残しています。 ・食物アレルギーや発達が心配な子どもの理解など、外部研修での新しい学びを共有し、保育に生かしています。外部研修受講後、参加者は研修報告書を作成し、職員間で回覧後、事務所にファイルリングして保管しています。 ・園内にエレベーター、多目的トイレ（2階）を備え、階段通路には点字ブロックを設置しています。各フロアに段差はありません。 ・設置法人により虐待対応マニュアルが整備されており、園長から関係機関に通告・相談し、連携して対応する体制ができています。 ・家庭での育児が適切に出来ていない部分を、園で援助したり、玄関ホールに、金沢区こども家庭支援課など、園以外の育児についての相談先や育児に関する情報提供をして虐待の予防に努めています。 ・食物アレルギーには、医師の生活管理指導表に従って対応しています。設置法人のアレルギー対応マニュアルが整備され、誤食の無いよう所定の手順を守って、除去食を提供しています。 <工夫している事項> ・職員更衣室内に、災害などの緊急時に備えて、配慮を要する子どもと配慮事項の一覧を掲示し、どの職員でも常に適切な対応ができるようにしています。
I－6 苦情解決体制 	・苦情処理対応マニュアルが整備され、重要事項説明書に相談苦情対応受付担当者として主任、解決責任者として園長の氏名を明記し、園のホームページにも苦情解決の仕組みについて掲載しています。玄関ホールに掲示で、第三者委員

	の氏名・電話番号を案内しており、保護者が直接苦情を申し立てることができません。かながわ福祉サービス運営適正化委員会の電話番号も掲示しています。 ・玄関ホールに意見箱、給食室の前に「給食室ご意見ボックス」を常置しています。大きな行事の後にはアンケートで日ごろの保育についても意見や感想を聞くほか、年度末には年間を通しての園への意見や要望についてのアンケートを実施しています。年3回保護者会（全体会、クラス懇談会）、年2回個人面談を実施して、保護者の意見を聞いています。 ・担任は日々、子どもや保護者の様子を把握し、必要に応じて主任、園長が声かけをして、園への意見や要望を積極的に汲み取るように努めています。玄関ホールに、全職員の紹介や、当日の早番と遅番の職員を写真入りで掲示し、保護者への配布物にはわからないことは気軽に聞いてほしい旨を付記する、保護者から話しかけられたときには落ち着いて話ができる場所を確保するなど、相談しやすい雰囲気づくりに努めています。 ・苦情があった場合には、主任、園長に報告し、内容や対応を職員会議で周知しています。園単独で解決できない場合には、設置法人の苦情担当部門のほか、金沢区役所こども家庭支援課と連携して解決する体制が作られています。 ・苦情があればデータを蓄積する仕組みがあり、苦情内容及び解決結果について年度ごとにホームページで公表する仕組みがあります。
--	---

評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－１ 保育内容[遊び] 	・0、1歳児では、手の届く背の低い棚に、ぬいぐるみやおもちゃが置かれ、絵本は表紙が見えるようにして置いてあります。子どもが自分でぬいぐるみや絵本を取り出し、職員に見守られながら、おもちゃで遊んだり、お買い物ごっこをしたり絵本を見たりして思い思いに遊んでいる姿が見られました。 ・3～5歳児では、子ども達自身が「おもちゃの王国」と名付けた多目的室に、おもちゃが多数収納されています。キャスターのついたボックスなどに中身のわかる写真のラベルが付けてあり、自由遊びの時間には、遊びたいおもちゃを友だちと一緒に自由に運び出して、好きな場所で、お店屋さんごっこやままごとをしたり、机でお絵かきやあやとりをしたりしてそれぞれに遊んでいる姿が見られました。 ・0、1歳児の保育室は広さに余裕があり、遊びによってパーテーションやマットで空間を分けています。2～5歳の保育室は、夕方の合同保育の時間帯には、動きのある遊びをする部屋と静かな遊びの部屋を分けています。一斉活動の後や、合同保育の時間は、自由に遊べる時間にしています。 ・5歳児のお泊り保育では、何度も話し合いをして、子どもの希望を聞いて夕食のメニューや活動内容を決め、「ナイトプール（夜間のプール遊び）」や、虫取りをしました。 ・今年度7月から、週1回、3～5歳児クラスを3つの縦割りクラスに分けて活動する「のびのびの日」を設けています。夏祭りで担ぐお神輿は、テーマやイメージ（今年度は、野菜畑や星空）、使う材料などについて子どもが話し合っ決めて、お店屋さんごっこの売り物をみんなで考えて作ったりしました。 ・一斉活動では、年齢に応じたゲームなどルールのある遊びをして社会性を養えるようにしています。製作活動で、同じテーマで作ったものを友だち同士で見比べたり、一緒に歌を歌ったり踊ったりして、みんなで一緒に遊ぶ楽しさを感じています。 ・絵本や図鑑、生活廃材などをいつでも手に取れるところに置いたり、声をかけたり、職員も一緒に遊びの中に入ること、一人一人の遊びが発展するように援助しています。 ・子ども同士のけんかも大切な経験と捉え、危険のないように見守りつつ、状況によって、職員が双方の言い分を聞いたり、子どもの気持ちを代弁したりしな

	がら、援助しています。友達に手が出たり、ひどい暴言があった場合には、いけないことだとはっきり伝えています。 ・「お散歩計画」のファイル、お散歩マップがあり、どのクラスも雨の日以外はほぼ毎日、近隣の公園に散歩に出かけています。思い切り体を動かして遊び、地域を知ったり、自然に触れたりしています。散歩の時には、地域の方に積極的に挨拶をしています。屋上園庭があり、主に3歳以上の子どもが遊んでいます。1階の0、1歳児の保育室前にも園庭があり、固定遊具での遊びや、水遊び、泥遊びをしています。 ・屋上園庭でプール遊びをする時には、遮光ネットを張っています。外出時には、子どもは垂れ付きの帽子をかぶって出かけています。 ・体調がすぐれない場合は、看護師の判断を仰いだ上で、静かな遊びができるように配慮しています。プールに入れない場合には、他のクラスの職員が対応したり、事務所で静かに過ごしたりしています。 <コメント・提言> ・夕方の時間帯に、静かな遊びをする部屋も設けられてはいましたが、おもちゃの出し入れなどで子ども達の移動が多く、やや落ち着かない雰囲気が感じられました。子どもがそれぞれに落ち着いて遊べる環境の確保について、さらなる工夫を継続して検討することを期待します。
Ⅱ－１ 保育内容[生活] 	・給食では、食材の名前を伝えたり、「美味しそうだね」と声かけしたり、果物の皮の剥き方を教える、食べやすいように食材を切る、集める、食べられたときにはほめるなど、年齢に応じて、自分で食べる意欲を持てるように援助をしています。完食を強要しないよう、調理職員を中心に、職員で改めて勉強会を行い、「完食について」とする資料をまとめて掲示しました。 ・1階の調理室の廊下から、調理室の様子をいつも見ることができます。三色食品群のことを歌にした「えいようのうた」の歌詞を各クラスに掲示しています。4歳後半から当番活動の中で、盛り付けや配膳をしています。 ・食育指導計画、食育年間スケジュールが策定されており、季節により、プランターでピーマンやオクラ、ミニニンジン、ジャガイモの栽培・収穫をしています。3～5歳児は、毎月クッキングの時間があります。 ・授乳は、ゆったりした雰囲気です。抱っこをして優しく声をかけながら与えています。離乳食は、職員が子どもと向き合い、やさしく声をかけながら、子どものペースに合わせて援助しています。 ・季節を感じられるよう、旬の食材を取り入れています。子ども達が楽しく食事ができるような雰囲気づくりを工夫しています。みんなで一緒に安心して落ち着いて食べることを大切にしています。 ・手で持った時の感触や重さ、大事に扱う気持ちを育てることを大切に考え、発達に応じた形の陶器を用いています。設置法人として、全国のエリアごとに食材の納入業者が決まっており、できる限り無農薬・減農薬野菜、国産の食材を利用しています。天然だしを用い、化学調味料は使わず、薄味を心がけ、おやつも手作りしています。放射線測定器を常備し、必要に応じて測定しています。 ・時間がある限り、調理担当者が子ども達の食事の様子を見に行っています。残量を集計し、給食会議で前月の献立について、反省をしています。 ・毎月、給食便りを発行しています。苦手な野菜でも食べられたメニューの作り方のポイントを紹介するなど、保護者に保育所で提供する食事に対する関心を持ってもらえるように工夫しています。夏祭りや給食試食会では、子どもに人気のメニューのレシピを配布しています。 ・乳幼児突然死症候群（SIDS）対策のために、0、1歳児は5分毎、2歳児以上は15分毎に呼吸チェックをして、保育日誌（0、1歳児）、睡眠チェック表（2～5歳児）に記録しています。0歳児については、職員の目視や触診のほかに、子ども全員にSIDS装置（センサー）を装着し、タブレットでも確認しています。 ・5歳児はおおむね10月の運動会終了のころから、午睡の時間を短縮し、就学に向けて発達を見ながら、午睡を一斉活動としない時期を検討しています。

	・0～5 歳児まで、デイリープログラムに排せつの時間が定められているほか、活動が切り替わる時間の前におむつ替えやトイレに行くことを促しています。また、気づいた場合や、子どもから訴えがあった場合は、その都度対応しています。一人でトイレに行ける子どもは、行きたいときに自分で行っています。 ・トイレトレーニングは、基本的には、0 歳児から発達の様子を見ておまるに「すわってみよう」と声をかけることから始め、保護者と連携しながら、一人一人の子どもの状況に合わせて進めています。園での排せつ状況は連絡帳や口頭で保護者に伝えています。 ・職員は、子どもがおもらしをしてしまった場合でも、叱ったりせず、子どもの気持ちを受け止めて優しい言葉をかけ、他の子どもが気づく前に、速やかに片づけるなど、子どもの自尊心に配慮しています。 ・夕方には、ぬり絵や折り紙のコーナーを作るなど、午前中よりも、ゆっくり、のんびり遊べるように配慮しています。体を休めたい子どもがいた場合には、休める場所を作ったり、職員のひざの上で過ごせるようにしています。 ・夕食は、昼食と内容が重ならない食材を使うなど、園で提供する食事の全体のバランスが取れるように配慮しています。 ・ケガや発熱があった場合は、園長または主任が残り、その日のうちに保護者に説明しています。看護師も残って状態を伝えることもあります。 ・保育伝達ノートや児童確認票、メモ、口頭での伝達により、職員間での引き継ぎを徹底し、時間の許す限り送迎時に保護者とコミュニケーションを図り、子どもの様子を伝えるように努めています。 <コメント・提言> ・長時間にわたる保育のための環境設定について、さらに、ゆったりとくつろいで過ごすことが出来る工夫を継続して検討することを期待します。
Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] 	・健康管理マニュアルがあり、登園時の観察、検温と園生活を通じて、子どもの健康状態を確認しています。アレルギー疾患など既往症について個人ファイルに最新情報を記録し、関係職員間で情報を共有しています。 ・保護者に子どものその日の健康状態や様子を連絡ノートや口頭で伝えています。健康診断と歯科健診はそれぞれ年 2 回実施し、身体検査表、歯科健康診査表に記録し、健診の結果を書類で保護者に伝えています。異常があった場合は嘱託医の見解を伝え、かかりつけ医などの受診を勧めています。 ・感染症対応マニュアルがあります。感染症対応や出席停止基準について入園時に重要事項説明書に基づき保護者に説明しています。嘔吐や下痢があったときの処理の仕方などについて看護師が指導しています。園内で感染症が発生したときは園内に感染症名を掲示し、保護者に注意を喚起しています。保育中に発症したときは、体温 37.5 度を超えたら保護者に電話連絡して迎えを要請し、子どもは保育室か事務室で静かにしています。
Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理] 	・衛生管理マニュアルがあります。マニュアルの見直しの一部は園の実情に合わせて行い、設置法人に提案をしています。マニュアルの研修は入社時に行われますが、採用後の研修は職員に実施されていません。マニュアルの改訂は設置法人が行い、改定されたときは職員間で読み合わせをしますが、職員参加による定期的な見直しは行っていない。 ・保育室や園舎内外の掃除は「お掃除チェック表」を使って毎日行ない、園内は清潔な状態を保っています。 <コメント・提言> ・最新のマニュアルに従って衛生管理が行われるよう、年 1 回以上は職員参加によりマニュアルを見直し、職員に対する研修を実施することが期待されます。
Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理] 	・安全管理マニュアルがあり、職員会議で園長がマニュアルの重要なポイントについて説明しています。他園で起きた過去の重大事故事例を念頭において、午睡中の睡眠チェックなど、安全管理について万全の体制を敷いています。各クラスのロッカーの下に滑り止めマット敷いています。保育室の本箱や机の角には安全クッションを付けています。

	・事務室に病院、救急機関、消防、警察、地域防災拠点の富岡小学校などの「緊急時連絡先」を掲示し、緊急時の職員の役割分担を決めています。保護者への緊急時メール配信システムアプリを導入しています。毎月、地震・津波・火災などを想定して避難訓練を実施し、結果を記録しています。職員は消防署職員から AED の取り扱い研修や人形を使用した救急救命訓練を受けています。子どものケガは保護者に報告し、事故報告やヒヤリハット報告を職員会議や昼礼で行っています。 ・不審者対応マニュアルがあり、年に 2 回対応訓練を実施しています。インターフォンとモニターで訪問者を確認して開錠し、また、警備会社と契約して緊急対応体制を敷いています。警察からの情報や金沢区役所からの FAX で不審者情報を把握しています。
Ⅱ－３ 人権の尊重 	・職員は、子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視をしないように努めています。また、子どもをせかしたり強制したりせず、穏やかに接するように努めています。不適切な対応があった場合には、園長、主任から指導しています。 ・職員は、子どもの気持ちや発言を受け入れ、子どもの自主性を引き出せるような保育を行うように努めています。 ・職員会議では、子どもの人権について議題に挙げ、職員に注意喚起しています。 ・園の中に、トイレや多目的室、3 階への階段前、踊り場など、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。また、必要に応じて、事務所など、子どもに威圧感を与えずに一对一で話し合える場所、プライバシーを守れる場所を用意することができます。 ・個人情報取り扱いマニュアルが整備され、職員は入職時に守秘義務について説明を受け、誓約書を提出しています。実習生受け入れ時には、実習開始前に守秘義務について説明しています。個人情報を含む書類などは事務所に施錠保管しています。 ・重要事項説明書に個人情報の使用目的や提供範囲を明記し、入園時に保護者に説明し同意書の提出を受けています。保護者による園内での子どもや子どもの作品の写真撮影、グループラインなどへのアップ禁止について、設置法人名の文書で保護者に通知し、協力を求めています。 ・名簿は生まれ順、整列時も背の順などで性別にはしていません。行事や劇遊びの役割、発表会で披露する曲、持ち物、服装、製作物の素材の色などは、子どもが好きなものを選んでいきます。「男の子、女の子」という呼び方、母の日、父の日にまつわる行事はしていません。職員会議の中で年 2 回程度、性差について話し合い、性差による固定観念で保育をしないよう留意しています。 <コメント・提言> ・子どもへの接し方や言葉遣いについて、園長、主任からは指導がありますが、職員間で互いに配慮し、伝えあう機会が無いので、定期的に振り返りの機会を持つことを期待します。
Ⅱ－４ 保護者との交流・連携 	・重要事項説明書に保育方針や園目標を記載し、4 月の保護者会で説明しています。また、4 月、9 月、3 月の保護者会とクラス懇談会で保育方針、保育の取り組み、行事などについて話しています。年 1 回の保護者アンケートに加えて、本年度から行事ごとにアンケートを実施し、自由意見も記載できるようにしています。園だより、クラスだより、給食だよりを毎月発行し、保護者に配付しています。懇談会の欠席者には議事録を配付しています。 ・登園時に保護者から家庭での子どもの様子を聞き、お迎え時に口頭で子どもの様子を伝えています。0～2 歳児クラスは「連絡帳」を使い、家庭での子どもの様子や園でのその日の様子（食事、排便、睡眠など）について情報交換しています。幼児クラスは各クラスの廊下に 1 日の保育の様子を記載したボードを掲示して伝えています。 ・保護者との個人面談を 6 月、2 月に行い保護者の意向を確認しています。保護者の都合で面談日を決めることが出来るように、面談期間を 1 週間設けています。必要な場合は相談内容を所定の様式に記録し、その後の状況を確認してい

	ます。 ・保育参観・保育参加は随時可能です。年度初めに「年間行事予定表」を配付し行事ごとの写真やクラスの様子を撮った写真を掲示、ネット販売しています。 ・保護者が組織され、保護者会の役員会を保育室で行い、要請があれば園長、主任、職員が出席しています。保護者会に園の意向を伝え、園運営について話し合い、保護者の意見要望を聞くなど、常に保護者とコミュニケーションをとるように努めています。 <工夫している点> ・保育中の子どもの様子をリアルタイムで伝えるウェブカメラを保育室内に設置し、保護者や家族がパソコンやスマートフォンでクラスの様子を見ることが出来ます。
--	---

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	・第三者委員、保護者会メンバー、職員、設置法人が参加して運営委員会を開催し、地域住民でもある第三者委員から園への要望を聞く機会があります。夏祭りや運動会など地域行事で地域住民との交流を通じて園への要望を聞く機会があります。金沢区主催の「金沢まつりいきいきフェスタ」などでの遊びの提供に協力し、地域の子育て支援のニーズや保育所への要望を把握しています。 ・園庭開放日（月１回）、赤ちゃんの家（おむつ替えなどの場所を提供）の利用者を通じて子育て相談を受ける機会を設けていますが、ここ数年は利用者の実績がありません。地域住民に対して子育てに関する講習などは行っていません。 ・金沢区の幼保小交流事業に園長、年長担当が参加しています。富岡・並木地区の８園の園長・主任会を通じて保育士間の交流が行われています。 <コメント・提言> ・園庭開放（月１回）、赤ちゃんの家などを通じて、地域住民の子育て支援ニーズの把握を継続し、また、保育所の専門性を活かして地域への子育てに関する講習会などの開催を検討していくことが期待されます。
Ⅲ－２ 保育所の専門性を生かした相談機能 	・ホームページに保育園を紹介し、園のフェンスに行事予定を掲示するなど、地域への園情報提供に努めています。「園庭開放、育児相談」のポスターをフェンスに掲示し、運動会、夏祭りではポスターを貼り、地域住民の参加を呼びかけています。育児相談日を毎月１回設けていますが、利用実績がありません。 ・病院、区役所、児童相談所、療育センター、学校、消防、警察などの関係機関・団体の一覧表を事務室に掲示し、また、金沢区こども家庭支援課、中央児童相談所、横浜市南部地域療育センターなどの関係機関と常時連絡を取り合い連携しています。幼保小関係は主任、地域の園との交流関係は年長児担任、その他の関係機関は園長が担当しています。 <コメント・提言> ・週１回以上の定期的な相談日を設けての育児相談や、園庭開放、赤ちゃん広場利用などの機会を通じて育児相談事業を積極的に行うことが期待されます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	・卒園児の家庭に園の行事案内の手紙を送り、地域住民や子どもたちに参加を呼びかけています。地域の要請があれば、玩具や絵本などを貸し出す用意があります。９月の敬老の日に高齢者施設（リハビリやデイサービス施設）に園児が訪問し、発表会の成果を生かして、歌などを披露する計画がありましたが、荒天により実現できませんでした。地域住民が七夕の笹を提供してくれるなど、近隣との良好な関係を築いています。年長児交流が年２～３回行われ、公園で

	ドッジボールなどのスポーツを楽しんでいます。 散歩のときに地域住民と大きな声で挨拶を交わしています。また、お泊り保育のときに地域のスーパーマーケットで食料品の買い物をしています。小学校に年長児が出かけて交流したり、小学校の教諭が園を訪問して交流しています。運動会は近隣にある富岡小学校の体育館を借りて実施しました。地域の防災訓練に職員2名が参加しました。
IV－2 保育所における福祉サービスに関する情報提供 	- 設置法人のホームページ、金沢区のホームページに園の情報を掲載しています。金沢区の花火大会や、地域の行事である「六地藏さん祭り」があるときに園内にお知らせのチラシを置き案内しています。外部の情報媒体として、金沢区地域子育て支援拠点「とことこ」などの情報誌に園を紹介しています。見学者に園概要を紹介するパンフレットを渡しています。 - 園についての問い合わせは、園長と主任が常時対応しています。問い合わせのあった利用希望者には、見学ができることを伝えています。見学の日時については保育時間や午睡などの時間帯を伝え、利用者の見学したい内容や、日時を聞いた上で決めています。
IV－3 ボランティア・実習の受け入れ 	- ボランティア受け入れマニュアルがあり、職員にボランティア受け入れの考え方や方針を話しています。ボランティア受け入れ・育成担当者は園長が担っています。本年度7月に専門学校生2名が保育補助として2日間活動しました。活動結果の感想を聞いて園運営の参考にしています。 - 実習生受け入れマニュアルがあり、職員に実習生受け入れの考え方や方針を話しています。実習生の受け入れは園長、育成担当者は主任が担っています。本年度5月に横浜こども専門学校の学生1名の実習を2週間受け入れました。実習目的やプログラムについて学校の教員と打ち合わせして組み立てており、実習後に実習生と園長、主任が意見交換しています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V－1 職員の人材育成 	- 設置法人策定の人材育成計画があり、その中に保育士として身に付けたい社会性、専門能力などが「新任保育士」「3年保育士（3～4年目）」「5年保育士」「10年保育士」の段階に応じて明確に示されています。 - 職員は運営理念・保育方針を理解し、キャリアアップ研修（県委託、横浜市や金沢区主催）をベースに職員各自で研修計画を作成していますが、職員の経験や熟練度に応じた体系的な年間個別計画が策定されていません。 - 保育所運営に十分な職員人材構成は園長がチェックし、不足があれば設置法人に相談し補充をしています。 - 内部研修として、法人本部研修（離乳食、園長研修、主任研修、食育、献立など）があり、外部研修として、金沢区主催（衛生管理など）、富岡東消防署による救急救命講習、市立保育園園長会（心と体を育てる食事）、（株）ポピンズ（保健・衛生・安全対策など）、南部地域療育センターの研修などに参加しています。研修受講後は研修内容を報告書にまとめ、職員会議で研修内容を発表し、報告書は他の職員が誰でも見られるようにしています。 - 非常勤職員は非常勤職員用のマニュアルがあります。保育業務を行う際、職員配置は保育レベルや勤務時間などを考慮して、常勤職員と非常勤職員を組み合わせる勤務体制を組んでいます。主任や担任は、職員会議などで決定した事項や保育のねらい、子どもの様子など伝達すべき事項について非常勤職員にも伝え、コミュニケーションを図っています。 <コメント・提言> - 職員の経験や熟練度に応じた体系的な年間個別研修計画を作成し、実施することが期待されます。
V－2	職員個々の自己評価は年1回、年度末に実施していますが、保育所としての自己評価を計画的に行う仕組みがありません。

職員の技術の向上 	・職員は研修などで得られたことを、職員会議で発表し話し合っています。横浜市南部地域療育センターの職員が年2回巡回訪問し、指導を受けています。 ・職員は年間、月案、週案指導計画に基づいて行った保育結果について、ねらい、内容、保育士の配慮に関連付けて評価反省をし、次期の狙い、内容、配慮事項に反映しています。 ・指導計画結果の振り返り、日常業務などを通して保育所としての課題を明らかにし、中長期計画に反映して改善に取り組んでいます。保育所としての課題抽出に当たり、園の理念や方針に沿っていることを確認し中長期計画を立案しています。各項目について総括的に反省・改善点を記載していますが、公表はしていません。 ＜コメント・提言＞ ・保育所としての自己評価を行う仕組み作りが期待されます。 ・職員の自己評価結果を踏まえて保育所としての自己評価を行い、改善課題への取り組みについて公表することが期待されます。
V-3 職員のモチベーションの維持 	・職員はキャリアアップ研修をベースにして研修に参加し、その結果を処遇改善など加算に反映しており、これらの仕組みを職員に周知していますが、設置法人や園としての人事基準が明文化されていません。 ・職務分担表に基づいて職務内容・権限を明確にし、現場における権限移譲を可能にし、職務遂行の結果を評価しています。 ・職員からの改善に関する意見は日常業務や会議の場で提案があり、また、法人として職員表彰制度があります。個人面談、研修結果振り返り（年度末）などを通じて、職員の要望を把握しています。 ＜コメント・提言＞ ・配置や昇進、昇格に関する人事基準を明文化し、職員に周知することが期待されます。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
VI-1 経営における社会的責任 	・園として守るべき法、規範、倫理などを就業規則に明記し、職員に周知しています。設置法人に関する施設紹介、苦情内容などはホームページで確認できます。他園の不正や不適切事例は報道などで入手の都度、職員会議で話し合って自園で発生しないように注意喚起しています。設置法人から情報提供や通達がある場合もあります。 ・年1～2回設置法人による内部監査があり、現金などの取り扱い、規定・マニュアルの管理、労務管理、園内衛生管理、災害や不審者対応などについて監査を受けています。設置法人の本社は税理士や社会保険労務士の助言を受け、経営に活かしています。 ・牛乳パックなどの廃材を使って子ども達の帽子入れや靴下入れなどを作って、再利用を図っています。必要のない場所の電気・エアコンをこまめに消すなどで、省エネを実施しています。中期計画（令和3年度）に「地球環境問題に取り組む」をテーマに掲げ、廃材を利用した製作を内容としています。
VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	・運営理念や保育方針については、ご利用のしおり（重要事項説明書）や全体的な計画に明示し玄関に掲示しています。運営理念や保育方針を職員に対して周知し理解を得るために、職員会議で再確認をしたり、年度初め、年度末に話して理解が深まるようにしています。 ・年長児のアルバム製作、設置法人が導入する「あい運動教室」など重要な意思決定に際し、職員、保護者と話し合い、実行に向けて取り組んでいます。園全体としての取り組みとして、行事や食育の計画・推進に保育士、看護師、調理職員が参加しています。 ・横浜市などが主催するキャリアアップ研修に主任クラスを育成するプログラムがあり、職員が参加しています。主任は、職員の体調や勤務内容などを把握

	し効率的に気持ちよく勤務できるように配慮し、また、職員の能力や人柄などを把握し的確な助言をしています。
VI－3 効率的な運営 	・平成 30 年度～平成 34 年度の 5 年長期計画目標として「元気な体と優しい心の土台作り」「地域交流」を掲げています。また、中期計画目標として「異年齢保育」「食育」「子どもの個性に合わせた保育」「地域交流」「行事見直し」「研修」「園内研修」を項目として取り上げています。 ・次世代に向けての保育園運営の検討や幹部後継者育成については設置法人が検討しています。設置法人は外部の専門家や機関から意見や情報を取り入れるように努めています。

利用者家族アンケート

事業所名: あい保育園富岡東

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数66名、全保護者55家族を対象とし、回答は37家族からあり、回収率は67%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は98%(満足49%、どちらかといえば満足49%)と高い評価を得ており、否定的な回答は2%(どちらかといえば不満2%、不満0%)でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

(肯定的な回答が95%以上)

- 1) 問4(遊び): 戸外遊びが十分(97%)、健康づくりへの取り組み(95%)
 - 2) 問4(生活): 給食を楽しむ(97%)、基本的生活習慣への取り組み(95%)
 - 3) 問5: 落ち着て過ごせる雰囲気(97%)
 - 4) 問6: 園の様子や行事に関する情報提供(98%)、行事の開催日・時間帯の配慮(95%)
- (肯定的な回答が91~94%)
- 5) 問2: 園の目標・方針の説明(92%)、保育園での一日の過ごし方の説明(92%)
 - 6) 問4(遊び): 園の遊び(92%)、おもちゃや教材(92%)、自然に関わる園外活動(92%)、遊びを通じた友だち・ 保育士との関わり(92%)
 - 7) 問4(生活): 給食の献立内容(92%)、子どもの体調への気配り(94%)
 - 8) 問5: 施設の設備(94%)、感染症発生状況や注意事項などの情報提供(92%)
 - 9) 問6: 子どもに関する重要な情報の連絡体制(92%)、迎えが遅くなる場合に柔軟な対応(92%)
 - 10) 問7: 子どもが大切にされている(91%)、子どもが園生活を楽しんでいる(94%)

◇ 比較的満足度の低い項目(否定的な回答が15%以上)

- 1) 問2: 費用や決まりの説明に関し入園後の食い違いの有無(17%)
- 2) 問5: 外部からの不審者侵入を防ぐ対策(22%)
- 3) 問6: 送り迎えの際の子どもの様子の説明(19%)

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
%	11	65	16	5	0	3



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
%	64	32	4	0	0	0

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	57	19	5	0	19	0
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	41	43	0	8	5	3
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	49	43	5	0	0	3
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	46	38	10	3	3	0
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	49	43	8	0	0	0
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	40	40	14	3	3	0
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	49	40	11	0	0	0
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	46	32	14	0	8	0
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	57	35	8	0	0	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	65	32	0	0	3	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	60	32	8	0	0	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	62	30	8	0	0	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	43	49	5	3	0	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	49	46	5	0	0	0
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	81	11	5	0	3	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65	32	3	0	0	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	73	22	5	0	0	0
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	62	27	8	0	3	0
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	59	16	5	3	14	3
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	65	29	3	0	3	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	59	30	8	0	0	3
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については %	54	40	0	0	3	3
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については %	54	43	3	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については %	51	24	19	3	3	0
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については %	54	38	5	3	0	0
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については %	43	43	11	3	0	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については %	49	49	2	0	0	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については %	54	41	5	0	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については %	40	38	16	3	3	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については %	46	46	5	3	0	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には %	51	32	14	0	3	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には %	51	41	3	0	5	0
	その他:					

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては %		59	32	3	0	3	3
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては %		59	35	3	3	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については %		35	35	5	0	22	3
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては %		57	29	8	3	3	0
	その他:						
意見や要望への対応については %		54	35	8	0	0	3
	その他:						

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
総合満足度は %		49	49	2	0	0

観察方式による利用者本人調査

令和元年10月21日、25日

事業所名：あい保育園富岡東

【0歳児】

＜活動や遊び＞

部屋の中で、好きなおもちゃを触り、指で押して音を出したり、小さな車を押して楽しんだりしています。柵につかまってピアノの方を見ている子、座って保育士の動きを見ている子もいます。先生の膝の上に座っている子もいます。窓から1歳児が散歩の出かけるところを見ている子もいます。(日中)

子どもが二人、ブロックで作ったお山のサークルを這って上ったり下りたりして遊んでいます。廊下で保育士が、子どもが入った段ボールを二つ、ひもで引っ張っています。電車ごっこです。子どもたちは引っ張られながら周りを見回して、動くのを楽しんでいます。しばらくすると、今度は廊下で子どもと保育士が並んでハイハイしています。「ヨイショ、ヨイショ」子どもは保育士に遅れまいとハイハイしています。(夕方)

＜排泄＞(午前中)

保育士が「〇〇ちゃん 次だよ。次 おしっこ替えようね、じゅんばんこね」と声をかけ、沐浴室内で、やさしく膝にのせたり、壁につかまって立たせたりして、手早くおむつ替えをしていました。

＜授乳・食事＞(おやつの時間)

テーブル付きの椅子に座って、子どもは「くっ、くっ。ごっ ごっ。おっ、おっ」など、声を出したり、指で差したりしながら自分の食べたい物を伝えようとします。保育士は、優しく「じょうず、パクン」「どうぞ」と声をかけながら、スプーンですくったり、食材を集めたりして援助します。子どもは自分で、スプーンを握ったり、手でエプロンに落ちたものも拾って一生懸命に口に押し込もうとします。両手でコップを上手に持ってお茶を飲みます。先生と1対1で向き合って、いただきますやごちそうさまの挨拶も「おててパチン」と保育士が声をかけると、一生懸命、指や手を合わせて先生の仕草の真似をしようとします。先生が大好きな様子で、笑顔で手をたたき、安心して過ごしています。

＜午睡＞

保育士が、子どもの様子を見ながら、子どもの身体をトントンしたり、さすったりして、援助していました。

【1歳児】

＜活動や遊び＞（東富岡公園への散歩）

自分で靴をとってくる子、自分で履いてしまう子など、保育士はそれぞれの様子を見て、膝の上にのせて靴を履かせたり、靴のベルトを止めたりします。子どもはドアをたたいたりして待ち遠しそうな様子です。散歩車に乗る子、保育士と手をつないで歩く子に分かれ出発します。途中、バスを待つ人や、道ですれ違う人に、「おはようございます」と保育士が挨拶をすると、どの人も会釈をしたり、子どもに手を振ったりして笑顔で応えてくれました。子どもたちも散歩車の中から、興味のある物を、指をさして一生懸命保育士に訴えます。近くを通る京急線の電車を見て「ケキュー ケキュー」と声を出す子もいます。保育士は、一人一人に「あ、バス。バス乗ったことある？」「おじぞうさんだね」「風だね、風で動いているね」「葉っぱだね」などと丁寧に答えていました。

公園に到着すると、「今日は東富岡公園に来ました」と子どもに注意事項をきちんと説明します。子どもたちは大人しく聞いています。お気に入りの動物の乗り物に駆け寄ってよじ登る子たちに、保育士が「じゅんばんこ」と声をかけながら、一人で乗れない子には手を添えます。砂場では、スコップやバケツ、型抜き、カップなどを使ったり、手で砂をすくったりして思い思いに遊び始めます。「おやま作っているの？」と保育士が声をかけたり、一緒に作ったりしています。バケツにいっぱい砂を運ぶ子を「力持ちだね」とほめます。砂の果物が完成すると手をたたいて一緒に喜びます。保育士が「フルーツやさんしよう」と声をかけ、「あ～美味しい」と食べるまねっこをして遊びました。砂でケーキを作っている子どもに「おいしそう」と声をかけ、誕生日の歌を歌い始めます。

後から散歩車で来た0歳児に、保育士が「ひよこさん、おはよう」と声をかけると、3人くらいの子が、駆け寄っていきます。

友だちがすくった砂がかかって泣き出す子がいて、「かかっちゃったね、嫌だったね」「嫌だったって」と間にはいって言葉かけをしていました。

「ナイナイしよう」と片付けの声をかけた時に、嫌がって、道具を袋に戻さない子がいました。「嫌なの？」と保育士は少し時間を置いて声をかけていました。

帰り道、坂道で散歩車を押す先生に、「重たい？大丈夫？がんばれ、がんばれ」声をかける子どもがいて、保育士は「有難う」と答えていました。

＜排泄＞

保育士が「お腹痛くないかな」と声をかけながら、トイレ内のマットの上に寝かせて、手早くおむつを取り替えていました。ほかの子どもにも、「おトイレ替えるよ おいで おいで」「チッチ 替えるよ」「おズボン んぎんぎでできる？」と穏やかに声をかけて、子どもたちが寄って来ました。「替えのおむつを

自分で持ってくる子もいて、「こっちにあるよ 大丈夫」と声をかけていました。

<食事>

各テーブルに一人ずつ保育士がついて、時々手を添えて介助します。スプーンの子、手づかみの子、食べ物をしっかり見て一生懸命食べようとします。スプーンを落としてしまう子もいましたが、保育士がすぐに気が付きました。

「まぜまぜして」「ニンジン」「そうニンジンだよ」「おいしい?」「これはね、ごぼうだよ」「ぼーぼ?ぼーぼ?」「〇〇ちゃん、お肉は?」「美味しそう」「〇〇君も食べてみる?」子どもの声に応じて、保育士の言葉かけが続きます。「お野菜 減らしたら食べられる?」保育士が、大根を丁寧に取り除いていました。

【2歳児】

<朝の自由時間>

ケンカして泣いている子どもがいます。保育士が二人に事情を聞いています。泣いていない子どもを保育士が諭しています。やがて二人は別れて遊び始めました。窓際に座って絵本を読んでいる子どもたちがいます。テーブルで保育士が子どもたちに紙の人形にシールを貼るのを教えています。出来上がると保育士が名前を書き込んで窓に張り付けています。テーブルの周りをぴよんぴよん飛び跳ねている子どもがいます。子どもが腕に貼ったシールを保育士に見せています。「あ、〇〇ちゃん、かわいいね」嬉しそうに子どもは駆けていきます。

<排泄>

トイレ室で子どもたちがトイレスリッパをはいて順番を待っています。保育士が子どものズボンとパンツを下ろしています。おむつを取ってもらった子どもはトイレに向かって走っていきます。終わると保育士の元に戻っておむつ、パンツ、ズボンをはかせてもらっています。保育士が廊下にズボンを伸ばしておいています。自分でパンツやズボンを上げようとする子どもがいて、保育士はところどころ手助けしています。「脱がないでできる?」「出た?」「つかまって」優しく声をかけています。

<食事>

子どもたちは座って待っています。お碗とお皿が前に並べてあります。保育士がパンとおかずが入ったお皿を配っています。「今日はバナナなんだ」得意げに子どもが声を上げています。保育士がスープをお碗に注いで廻っています。

給食の歌が終わると手をパッチンとして「いただきます」「どうぞめしあがれ」楽しい給食が始まりました。子どもたちは好きなものから食べ始めます。ロールパンの皮から食べる子ども、中の方から食べる子どもと様々です。「〇〇ちゃん、正面に向いた方がかっこいいよー」横向きに座っていた子どもが正面に座り直しました。別の子どもがスープをこぼしました。保育士が急いでテーブル

を拭いています。「どうやってむくの？」保育士「皮に切れ目が入ってるところからむくよー」指に力を入れてがんばり、むけると満足げにほうばっています。

みんなで「ごちそうさまでした」をして、椅子を窓際に運んで好きな絵本を読み始めました。椅子を縦に並べて座りごっこをして遊ぶ子どもたちがいます。くるくる回って踊っている子どもがいます。保育士が歯ブラシを配って回ります。ピアノに合わせて歯磨きの歌が始まりました。保育士が段ボールのワニを手にして開いた口にブラシを当てて子どもたちに教えています。「はい、じゃあここから、ゴシゴシ」終わると保育士が一人ずつ口の中を点検して仕上げ磨きをしています。食事が最後になった子どもがようやくバナナを手にして食べ始めています。横に保育士が座って見守っています。

【3 歳児】

＜散歩 3・5 歳児＞

(3 歳児) 玄関で子どもたちは自分で靴を履いています。点呼を終え、二人ずつ手をつないで公園に向けて元気よく出発。途中で出会う大人がいると子どもたちは口々に「おはようございます」とあいさつ。大人たちはニコニコして「おはよう、出かけるの？楽しいねえ」と答えています。レストランを見つけた子どもが「誰もいないよ」。保育士が「まだ朝早いからね、開いてないのね」と応えます。交差点では右手を挙げて急ぎ足で渡ります。保育士が「自転車が来るからね、ぶつからないように道の端を歩いてね」と注意を促します。

公園に到着しました。保育士が危険なものが落ちていないか全域を調べています。点呼を終えて「じゃ、遊びたい人」全員「はい」「この公園から外に出ないでね。お茶飲みたくなったら言ってね。じゃ、水筒をベンチに置いて、みな遊んでくださーい」

クリーム色のコンクリート斜面の下に砂場が広がっています。子どもたちは砂のかたまりを手を抱えて「はい、おだんご」とふちに並べています。「どれにしますか？」保育士「じゃ、これちょうだい」「はい、どうぞ」「アリさんがいる」保育士「本当だ、ありさん、ご飯食べに来たのかなあ」カバの乗り物にまたいで乗っている子たちがいます。保育士「カバさん、なに食べるのかなあ」子どもたち「いし」保育士「えー？いし？」子どもたち「はっぱだよ」。ボルダリングの斜面があり、子どもたちは上手に石をつかみながら上に登っていきます。そのまま隣の斜面に移り、砂場めがけてしゃがんで滑って降りています。

(5 歳児) 年長さんたちが到着して合流しました。保育士から注意事項を聞き終わると皆、一斉に斜面の上に走っていき、滑り始めます。後ろ向きになって滑る子どももいます。上から砂をまき散らしています。保育士「危ないから砂をまかないでねー」。年長の4人が横に手をつないだまま滑り降りています。砂場

に到達するとキャッキヤと笑いながら、ばらばらに駆け出します。勢いよくボルダリング斜面を駆け上っています。広場では追いかけっこをしています。保育士たちは子どもたちが走り回っているのを見守っています。

<排泄・午睡>

散歩から帰った子どもたちは保育室で手を洗っています。やがて、めいめいトイレに向かいます。トイレ室に保育士がいてズボンとパンツを脱ぐのを手伝っています。脱ぎ下ろすと自分でトイレに向かいます。トイレを終えた子どもが戻ってきて自分でパンツとズボンをはこうとしています。はくことがなかなかできない子どもがいますと保育士が手伝っています。

午睡が始まっても眠れず起きている子もいて、保育士が、トントンしたり、やさしく身体をなでたりしていました。一人でトイレに行く子もありました。

<食事>

給食の歌を終わって「パッチン、いただきまーす」フォークとスプーンを使っています。スープのお椀を手にして「こんにやく、すきだよ」「あ、だいこんだ」うどんをフォークで上手に取り上げて口に運んでいます。保育士「おいしい？」子どもたち口々に「おいしい」保育士「〇〇ちゃん、フォーク逆だよー」言われて子どもは持ち方を変えます。保育士「〇〇ちゃん、めんが伸びちゃうよー。がんばろうね」うどんは食べやすいように短く切ってあります。子どもはめんをフォークですくい上げてゆっくり食べています。まだ、うどんが残っている子どもに「〇〇ちゃん、最後のがんばり。お茶飲んでみる？」と声を掛けると子どもはお茶を飲んで、うどんにフォークを突き刺して眺めています。

【4 歳児】

<活動や遊び>

午前中、何人かの子どもが、先生がピアノを弾く周りに集まって、歌を歌っています。ピアノからは離れた場所で、歌には参加しない子もいます。部屋の隅にすわりこんだり、廊下に出てきて、リュックの中から小物を取り出して見せにくる子がいます。職員と子どもたちが、それぞれチーターのマネをして、部屋の中を走ってみます。「チーター こんな感じかな」「全然違うよ」「やってみて」「速い速い」「〇〇ちゃんは？」職員が皆に声をかけていました。

<食事>

キャーと走り回る子もいて、にぎやかです。「ねえ、そういう時間なの？お給食の準備をみんなですてくれるかな」「トイレに行つてね」と保育士から声がかかります。「おトイレ おトイレ」子どもは自分でトイレに行きます。

今日は「パーティーテーブル」です。「(席は) お椅子がある好きなところだよ」ピアノの音に合わせて、保育士が「ゆりさん、ゆりさん」と呼びかけ、子

どもたちが「はあい」と音程をつけて応えます。「みんな、〇〇くんから提案があるんだって。聴いてもらってもよいかしら。もうすぐ、ハロウィンだから、暗くして食べたいんだって」みんな賛成のようです。「お当番誰でしたっけ、お給食をもらってきましょう」ゆっくり製作に取り組んでいた子も手を洗って給食の準備をします。先生に抱き着いたり、ひざに頭を押し付けたり、近くに立っている子が2人います。席について、向かい合って手をつないだり、歌を歌ったり、変顔を見せ合ったりして、楽しそうです。「今日、パンだね」「お客さま、いらっしゃいませ、レストランへようこそ」保育士が楽しい雰囲気盛り上げます。「いい匂いね」「お当番さんお願いします。皆さん、お当番さんから、大事なお知らせがあります」「もうすぐハロウィンだから、暗くして食べましょう」給食の歌を歌って、いよいよ先生が、部屋を暗くします。「ジャジャジャジャーン」キャーと歓声が上がります。「これでいいの?」「ちょっとドキドキするね。楽しい?怖い人はいない?」「なんか、寝る時間みたいだね。お外が明るいよ」「あんまり暗くすると見えないよ。大丈夫?もう電気つけてもいい?」保育士が心配して声をかけると、「え〜」と反対の声が上がり、もっと暗くしようとカーテンを閉めようとする子もいます。ハロウィンに因んで、お化けの話で盛り上がります。家族や友達の話題もあります。他のクラスの先生がびっくりして、暗くしている訳を聞きにきました。

<午睡>

午睡の時間になると、自分で布団を敷いて、ゴロンと寝転んでいました。部屋を暗くしても、すぐには眠れず、布団の上でゴロゴロしている子も多くて、保育士がトントントンしたり、静かに声をかけたり、友だち同士で寝転んだまま話をしたりしていました。

【5歳児】

<活動や遊び>

「運動会の後からお昼寝を短くするよ」と話してきたとおり、今日からお昼寝の時間を短くするので、13時半まで静かな遊びをする話がありました。ほかのクラスの子どもたちは何をしてる時間かな、と保育士が問いかけると、「寝てる」と子どもたちから返事があり、大きな音を立てると小さな子たちがびっくりしてしまうから、静かな遊びをするのだと説明を受けました。「机の上でできること、何があるかな?」の問いかけに、少し考えて、粘土、塗り絵、お絵かき、折り紙…などの声が上がりました。めいめい道具箱から取り出して席に着き、思い思いに、自分のやりたいことに集中して取り組んでいました。

大きな声を出してクラスに入ってきた子に先生が「その声はマルかな?」と声をかけ、声をかけられた子どもは、声の大きさについての注意を理解した様

子で黙りました。

＜食事＞

当番の子が帽子とエプロンをつけて、配膳を手伝います。給食当番の一人の子どもの仕度が遅れて、当番活動に参加できないトラブルがありました。今日は給食の前にお着替えがあったのです。保育士は「お着替えどれかな。早く配りたいな。早くお着替えしなくちゃ。まだ間に合うよ」と仕度を促しますが、子どもはなかなか泣き止みません。友だちからは、「泣いている時間がもったいないよ」「一番に終わったのはボク」と声がかかります。帽子とエプロンを付けた他の当番の子が、おかずのお皿などを慣れた様子で席に配り、給食の準備が進んでいきます。「もうがんばれない」、もう一度みんなの給食の準備をやり直してほしい、と残念な気持ちを泣きながら激しく訴える子どもを、クラスの外に連れ出し、気持ちを受け止めながら、やり直すことはできないことを繰り返し伝え、三時のおやつの当番の役割を、その子がすることになりました。保育士は子どもと手をつないで、他の当番の子どものところに行き、「おやつの当番の仕事は、やらせてほしいって」と気持ちを代弁しました。

給食の歌を歌い、いただきますの挨拶をして、給食が始まります。「ごちそうさまは5にします」と先生が決めました。3つのテーブルに分かれて、テーブルを囲み、友だち同士で楽しくおしゃべりをしながらの食事です。箸を上手に使って食べていました。おしゃべりが弾んで、つい汚い言葉を話してしまう子どももいましたが、先生から「食事中にはそういうお話はしないよ」と注意がありました。食事が終わると、めいめいが手慣れた様子で食器を運んでいました。

食後は、ピアノの歌に合わせてみんなで歯磨きをして、その後、先生が仕上げ磨きをしていました。

＜お迎えの時間帯の遊び＞

「おもちゃの王国」と子どもが名付けた多目的室に子どもたちが来て好きなおもちゃ箱を選んでいきます。廊下を滑らせて保育室に運んでいます。蓋が外れて中のブロックがばらばらに廊下に散らばりました。子どもと保育士が拾い集めています。友だちと協力して運び出す姿もあります。3箱を抱えて廊下に持ち出し、積んだまま押している子どもがいます。人形を選んで大事そうに抱えて保育室に向かう子どもがいます。欲しいおもちゃの箱を先に友だちに取りられて泣いている子どもがいます。保育士が慰めています。「あの箱が欲しかったのね。ちょっと待ってようね。一緒に遊んでいいのよ」子どもは別のおもちゃ箱を探し始めました。子どもは、あやとりやお絵かき、ブロック、ままごと、プラレールなど様々な遊びをしていました。お店屋さんごっこやクレーンゲームごっこをしようと、レジのおもちゃや縫いぐるみを運んでいる子どももいました。

令和元年度 第三者評価を受審して

当保育園は開園7年目を迎える中で2回目の「第三者評価」を受審しました
保育士の定着、職員の質の向上を日々模索する中、第三者評価が加わることで保育の見直し
や再確認することを目的とし今回に臨みました。

今回の第三者評価は、自己評価を職員それぞれが行うことから始め、どう理解するのか、
どう解釈するのかで、その後のグループ討議、全体での集約でも意見が分かれるものもあり
ました。職員が自身の保育を厳しくさらにもう少しできるのではと、考えていることも書面
に出ることで理解しやすく共有できるものになりました。評価機関の皆さまに園の様子を
見ていただくことで日々の保育の見落とし、他者の目線での指摘、助言はとても良い刺激に
なり、改善すべきことにもつながりました。

今後、今回の「第三者評価」を受け保育士自身の保育の見直しをし
『私たちは子どもたちが

「自分の力で自分の夢を実現できる人」になって欲しいと願っています。』
の保育理念を持って保育する姿勢を評価いただけたことを大切にしつつ、さらに向上心を
もって臨んでいきたいと思います。
改善点についても保育、保育運営の中で評価機関の皆様の助言を参考に改善に努めていき
ます。

お忙しい中、多くの保護者の方にもアンケートに協力いただけたことにも感謝していま
す。評価機関の皆様の温かくて、厳しい評価、助言、時にはこちらの質問、相談に丁寧に対
応いただきました。情報共有などもしていただけてとても有意義な時間となりました。
誠にありがとうございました。

あい保育園富岡東
園長 久保 育子